

# 令和三年度事業計画案

## 1、会議及び発表大会

### 【教化研究会議】

#### ●第五十四回中央教化研究会議

- ・期 日 未定
- ・会 場 未定
- ・参加者 教区教研運営委員や関心のある本宗教師
- ・内 容 本宗が直面している、又は直面するであろう問題に対して、各教区教研委員と協議する。

#### ●地域教化研究会議の開催運営

- ・期 日 各教区との調整により開催予定
- ・会 場 各教区による指定場所
- ・参加者 各教区の教師並びに寺庭婦人
- ・内 容 各教区において事前に運営会議を開催し、地域の独自性を加味したテーマを決定した上で、教区の教師が協議する。

### 【連絡会議】

#### ●教区教化研究会議連絡会議

- ・期 日 五月十九日（水）
- ・会 場 Web会議サービスZoom
- ・参加者 各教区教研運営委員（前年度・当年度・次年度の各代表者一名）
- ・内 容 教区教化研究会議の事業報告及び事業計画をもとに情報交換を行い、教区間の協力と調整を図る。

#### ●教化センター連絡会議

- ・期 日 五月二十日（木）
- ・会 場 Web会議サービスZoom
- ・参加者 各教化センター代表者一名
- ・内 容 各教化センターによる事業報告及び事業計画をもとに情報交換を行う。

### 【発表大会】

#### ●第二十二回日蓮宗教化学研究発表大会

- ・期 日 未定

・会場 未定

・参加者 本宗教師及び寺族並びに檀信徒

・内容 自由テーマの研究発表大会を行う。

### 【その他】

● 研究員・顧問・嘱託会議

・期 日 四月七日（水）

・会 場 Web会議サービスZoom

・参加者 研究員、顧問、嘱託

・内 容 年度事業の運営及び調査研究対象の確認  
などを行う。

● 研究員例会、嘱託例会を開催し、研究体制の充実を図る。

● 総合研究会議など、必要に応じて参画する。

## 2、調査と研究

● 教研会議や教化学研究発表大会、研究例会の成果をふまえ、研究員を中心に教学の現代的な解明、また

日蓮主義に関する研究を行う。

● 現代における諸問題についての調査を行った上で、

教化のあり方を検証し布教方策の研究を行う。また、

必要に応じて管区単位で教化学研究会を開催する。

● 現代における諸問題に対応した教団のあり方について、他教団の調査と情報交換を進め研究を行う。

● 法華系新興教団を中心に教団の情報収集し、研究を行う。

● 伝道部・教務部と連携を図り、宗門運動や教団のあり方と布教方策について研究する。

● 必要な調査研究を行うため、研究員・顧問・嘱託は分担してプロジェクトチームを構成する。

● 研究員は各自の研究テーマをそれぞれの立脚点として、宗門に寄与すべくその成果を発表する。

● 近代日蓮教団史として年次年表を作成し、宗門の動向を記録する。

● 現宗研ウェブサイトの充実と運用を行う。また、諸資料のデータベース化や各種事業の公開など、研究所としての布教伝道方策を研究する。

● 宗教及び仏教関係学会、「教団付置研究所懇話会」「日本近代仏教史研究会」等へ参加し、情報収集と

研究調査を行う。

●現代社会で活躍する人材を調査研究し、宗門の発展に寄与する。

●その他、必要となる調査研究を行う。

### 3、資料部門

●宗門の公式資料の収集整理保管を行う。

●各教化センターと連携し調査及び教化研究を行う。

また、布教資料などの交流を図り、収集に努める。

●宗門教師が必要とする図書を購入し、コンピュータで蔵書を管理した上で、ウェブ上で検索できるシステムを構築し、閲覧できるようにする。

●宗門教師が必要とする視聴覚資料を購入し保管する。

●法華系新興教団に関する資料を収集し保管する。

●その他、調査研究を行う上で必要となる教化資料を収集し保管する。

●『現代宗教研究』第五十六号を発行する。

●『令和二年日蓮宗年表』を発行する。

●必要に応じて現代教化シリーズを発行する。

●その他、必要に応じて資料を収集、作成する。